令和５年度　信学会長野北幼稚園　「園の自己評価」

１　園の教育目標

（１）　じょうぶな体の子　（２）やさしい心の子　（３）心ゆたかなかしこい子

２　令和５年度の重点目標

「　あそびにトライ　　まなびにトライ　」

（１）よく遊びよく食べる丈夫な体の子
（２）思いやりのあるやさしい子
（３）好奇心いっぱいにとりくむ子

３　自己評価

A…十分達成されている　　B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない　D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	A
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	AB
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

４　本年度の取り組み及び来年度への方向

⑴ 子どもたちの主体性を育むことを保育の柱とし　カンファレンスをしながら保育を継続して行うことを心掛けてきた。保護者の皆様の温かなご理解とご協力もあり、園運営全体をスムーズに行うことができたと考えている。子どもたちにも自分が自部らしくいることまた　他の子どもを大切にしていく気持ちが芽生えてきていると考える。

（２）廃材を活用したり折り紙等を自由遊びを中心に黙々と制作しオリジナルなものを作り上げている。個性を生かしながら互いに子どもたちが切磋琢磨し学年を越えて刺激を受けている。年長児が他児にとってあこがれの存在になっている。

（３）園公開の一つとして ASOBO を開催し不定期に一般公開を開始した　一回の参会者は少ないのだが地域の方や子育てをしている方にとってリフレッシュできる場であったりお子さんの成長を共に分かち合える場になってきていることを願っている。今後も内容を吟味してよりよい活動をしていきたい。

（４）「園の教育環境」については、施設・設備の老朽化に伴い安全面や衛生面での課題が多い。より安全な園生活が送れるように、信学会事務局への要望を継続していきたい。